

普及活動情勢報告（令和6年4月分）

高吾農業改良普及所

仁淀川町農業委員がユズを勉強～高知市土佐山柚子生産組合の視察～



ユズほ場見学中の様子

3月26日、仁淀川町農業委員11名が、高知市土佐山柚子生産組合のユズ園地を視察しました。

普及所では、仁淀川町の茶農家の経営安定に向けた、補完品目としてユズ栽培を推進しています。今回は農業委員の方からの要望を受けて普及所が視察を計画し、ユズの幼木と成木のほ場を見ながらユズの現状について研修を行いました。

参加者からは、「何年目から実を成らすのか」「カミキリムシ対策はあるか」など、栽培管理や防除について聞く声が多く聞かれました。

普及所は、今後も仁淀川町のユズ栽培の推進による農家の経営安定を支援していきます。

夏秋高糖度トマト、定植始まる～巡回指導を実施～



個別巡回の様子

3月6日から3月31日にかけて仁淀川町の、夏秋高糖度トマト農家（3戸）の定植が行われました。

普及所は個別巡回を通じて生育状況を確認し、かん水管理や追肥について指導を行いました。

生産者から「かん水量は適切なのか」、「活着が不十分な株は摘花した方が良いか」といった質問があり、生産者と生育を見ながら対応内容を確認しました。

普及所は、今後も個別巡回指導を行い、夏秋高糖度トマトの生産安定を図っていきます。

秋葉まつりの里未来会議 ～茶受託面積の拡大に向けて～



検討会

4月16日、秋葉まつりの里未来会議の検討会が開催され、この中で今年度から普及所が紹介したアドバイザー1名を雇用することになりました。

アドバイザーは仁淀川町別枝地区における組織として守るべき茶園の選定、受託茶園の拡大及び管理作業などに参加してもらいながら、茶園を継続して守る仕組み作りについて考えていくことになりました。

普及所は、秋葉まつりの里未来会議、アドバイザー、仁淀川町と連携して地域の茶園を守る取組を支援していきます。